



第66期 中間報告書

2024年11月1日～2025年4月30日

株式会社オービス 証券コード:7827

～リーダーシップを更に発揮、 改善・改良を繰り返し企業価値の向上に繋がります～

当社グループを取り巻く経営環境は、歴史的な転換期を迎えています。日本経済はコロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻しましたが、米国の関税政策に伴うサプライチェーンへの影響等、複雑かつ急速な変化も加わり、舵取りが難しくなっています。

当社グループといたしましては、引き続き多明細・小ロット生産品に特化するなど、環境の変化にぶれることなく、顧客満足の追及と顧客ニーズの多様化に応え続けます。

一方、課題として、効率的な生産体制の確立や大口案件が同時進行した場合の対応強化などが挙げられます。今後は強みを更に伸ばすことはもちろんのこと、これらの課題についても積極的に取り組み、「収益力」「成長力」を高めてこの難局を乗り越えていきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 中浜 勇治



業績ハイライト



POINT 1

上半期はハウス・エコ事業において、計画対比では若干の未達で着地したものの、大型物件の完工が相次ぎ、期首から寿鉄工株式会社の損益が加算されたこともあり、前年対比では大幅な増収増益となりました。

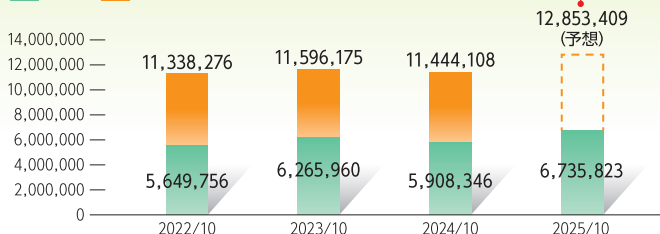


POINT 2

通期連結業績予想につきましては、米国の関税政策の影響で国内外の経済情勢は急速に不透明感が増していることから、2024年12月13日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

売上高 (千円)

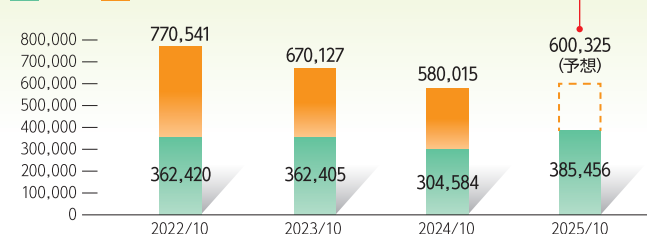
■ 上半期 ■ 通期



6,735,823千円
(対前年同期 +14.0%)

営業利益 (千円)

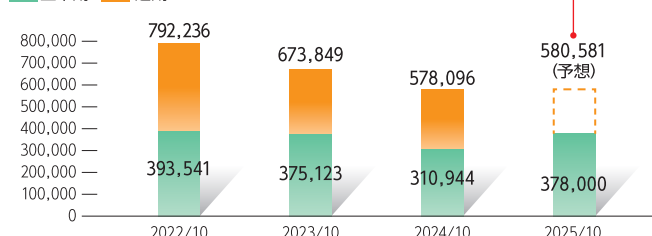
■ 上半期 ■ 通期



385,456千円
(対前年同期 +26.6%)

経常利益 (千円)

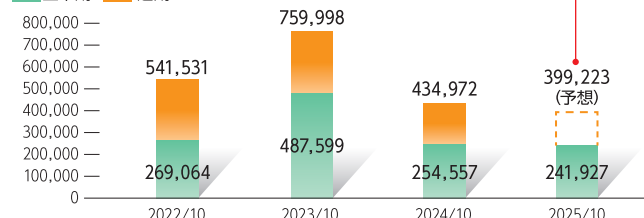
■ 上半期 ■ 通期



378,000千円
(対前年同期 +21.6%)

中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (千円)

■ 上半期 ■ 通期



241,927千円
(対前年同期 ▲5.0%)

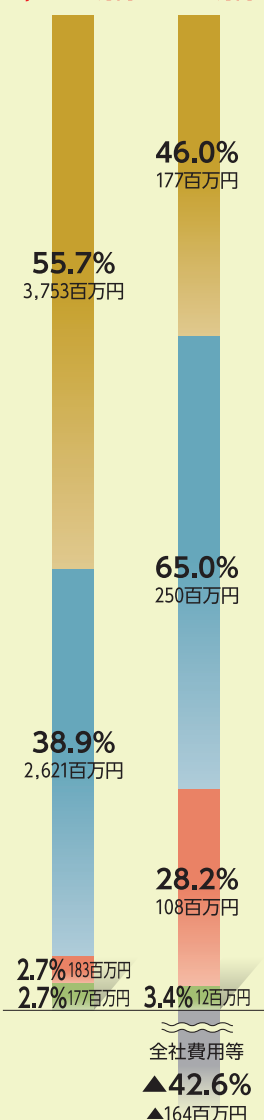
※当社は、2024年10月期第2四半期決算より連結決算に移行しました。従いまして2022/10、2023/10は個別数値(参考情報)を、2024/10、2025/10は連結数値をそれぞれ記載しております。

事業領域別の概況

前連結会計年度において、賃貸用不動産2棟の譲渡を行い、不動産事業から撤退したため、当連結会計年度より「不動産事業」の区分を廃止しました。

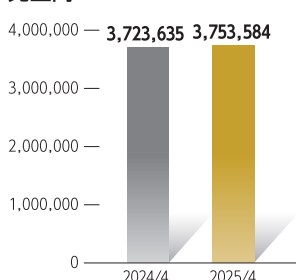
売上高
2025年度
(上半期)
6,735百万円

営業利益
2025年度
(上半期)
385百万円



木材事業

売上高



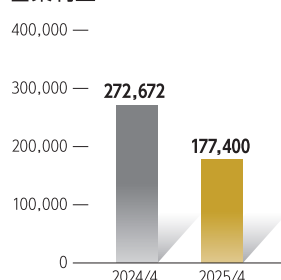
2025年度 (上半期)

3,753,584千円
(対前年同期 +29,948千円) ▲

2025年度 (予想)

6,932,875千円
(対前年同期 ▲416,354千円) ▲

営業利益



2025年度 (上半期)

177,400千円
(対前年同期 ▲95,272千円) ▲

2025年度 (予想)

300,514千円
(対前年同期 ▲128,644千円) ▲

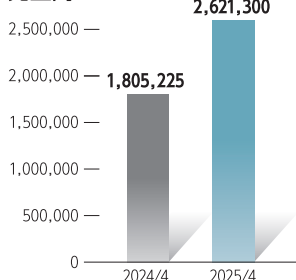


外国産材から国産材への切り替えが更に加速しました。国産材(杉)の生産比率を高め、前年同期を上回る受注量確保したものの、NZ丸太が為替円安の影響を受けて原材料コスト増となり、増収減益となりました。

上半期時点では、売上高、営業利益とも計画を超過しているものの、中国経済の低迷や米国の関税政策等、不透明な要素が多々あり、予断を許さない状況が続くと思われます。引き続き、新規顧客・明細開拓に注力し、工場稼働率の維持に努めます。

ハウス・エコ事業

売上高



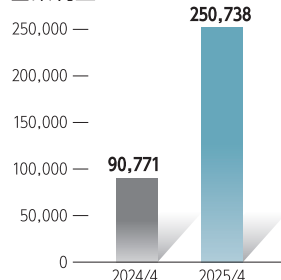
2025年度 (上半期)

2,621,300千円
(対前年同期 +816,074千円) ▲

2025年度 (予想)

5,052,834千円
(対前年同期 +1,801,794千円) ▲

営業利益



2025年度 (上半期)

250,738千円
(対前年同期 +159,967千円) ▲

2025年度 (予想)

310,476千円
(対前年同期 +164,936千円) ▲

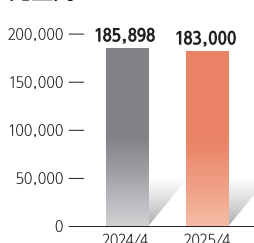


2024年3月に子会社となった寿鉄工株式会社の経営成績が期首から組み込まれ、大型物件の完工や受注時採算性の強化、工種毎の原価管理の徹底・諸経費の一層の削減に取り組んだことにより、増収増益となりました。

有力案件の期ずれの影響があるものの、引き続き、利益率の向上に努めるとともに、受注確度の高い有力案件を着実に受注に結びつけ、これまで以上にゼネコン・建設会社等との接点の拡大・関係強化を図ります。

太陽光発電売電事業

売上高



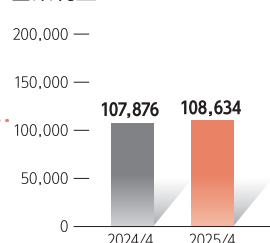
2025年度 (上半期)

183,000千円
(対前年同期 ▲2,898千円) ▲

2025年度 (予想)

451,400千円
(対前年同期 +4,364千円) ▲

営業利益



2025年度 (上半期)

108,634千円
(対前年同期 +758千円) ▲

2025年度 (予想)

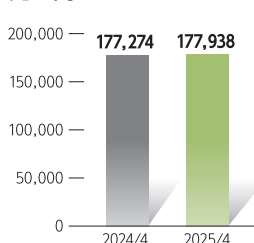
289,231千円
(対前年同期 +4,640千円) ▲

日照時間が天候不良により短く、複数のメガソーラーで一部パワーコンディショナが故障したものの、減価償却負担の減少により、減収増益となりました。

安定した発電運転を継続するため、定期的なメンテナンスの実施や発電の阻害要因となる影や落ち葉の影響を最小限とすべく竹や雑木の伐採を行います。

ライフクリエイイト事業 (ゴルフ場)

売上高



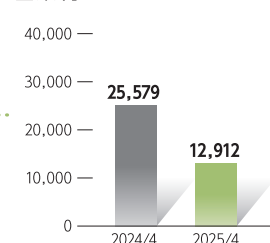
2025年度 (上半期)

177,938千円
(対前年同期 +664千円) ▲

2025年度 (予想)

416,300千円
(対前年同期 +35,808千円) ▲

営業利益



2025年度 (上半期)

12,912千円
(対前年同期 ▲12,666千円) ▲

2025年度 (予想)

76,462千円
(対前年同期 +6,947千円) ▲

冬季の降雪等によって長期間クローズが発生しました。一部料金の値上げを行ったものの、クラブハウスの照明器具の取り替え等、修繕費が大幅に増加し、増収減益となりました。

コースメンテナンスにおいて地域トップ水準の良好なクオリティを維持し、お客様に最高のプレー環境を提供します。従業員チャレンジコンペ等の開催により、女性や若者にも選ばれるゴルフ場を目指します。

※営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

ハウス・エコ事業

第二の柱となる事業として、
収益性が大きく改善(営業利益は前年同期比176%増)しました。



2024年3月に子会社となった寿鉄工の経営成績が期首から組み込まれ、大幅な増収増益を達成。グループ会社毎の既存事業の拡大に加えて、以下の「3項目」について、グループシナジーを追求し、成長を加速させます。



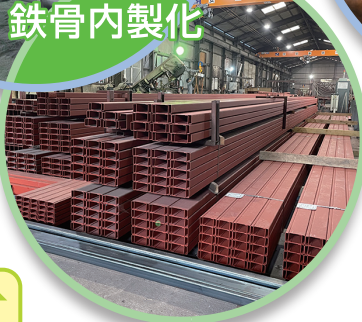
鉄骨内製化



技術連携



協業



オービス発注の大型物件に寿鉄工製作の鉄骨を使用し、収益の向上を図ります。
3Qにオービスグループ初の鉄骨内製化案件に着手しました。



Hグレードを保有する寿鉄工の技術継承を目的とした人材交流を図ります。
オービスでMグレード認定取得を目指します。



両社の営業部門が連携して取引先を訪問、
中四国・関西圏での受注積み増しを図ります。

木材事業

シェアの拡大を見据えた提案型営業を強化、
お客様に支持される「オンリーワン」企業を目指します。

- マーケットは中国経済の低迷を受けて不況が継続するも、日本初大型ハイブリッド工場の強み(異なる樹種が製材可能)を最大限発揮、**フル稼働に近い操業を維持**しました。
- 一般的な競合他社は一つの用途向けの取引のみ、当社は**5つの異なる用途向けに多数のお客様と取引している**ことが最大の強みです。

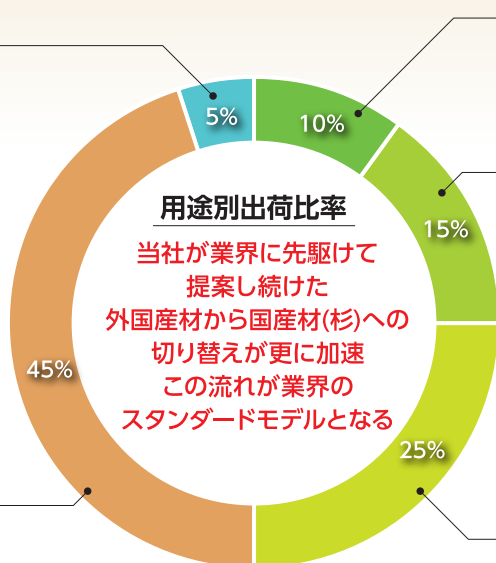
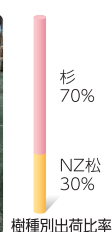
非住宅分野

大阪万博大屋根リングの約5%は
当社支給材(当社調べ)



輸出梱包材

輸送時の商品の保護に用いられる
材料



用途別出荷比率
当社が業界に先駆けて
提案し続けた
外国産材から国産材(杉)への
切り替えが更に加速
この流れが業界の
スタンダードモデルとなる

土留め材

土や砂などが崩れるのを防ぐために
使われる構造物の材料



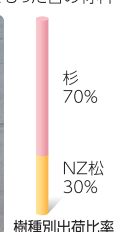
電線ドラム材

ケーブルや電線を巻いて保管や輸送を
するための円筒形構造物の材料



パレット材

フォークリフトを用いて輸送、保管等の
全てを可能とする面をもった台の材料



POINT 1 国産杉を中心に従来以上に潜在顧客層への**アプローチを強化**、
お客様の求めるサービスの提供に邁進します。

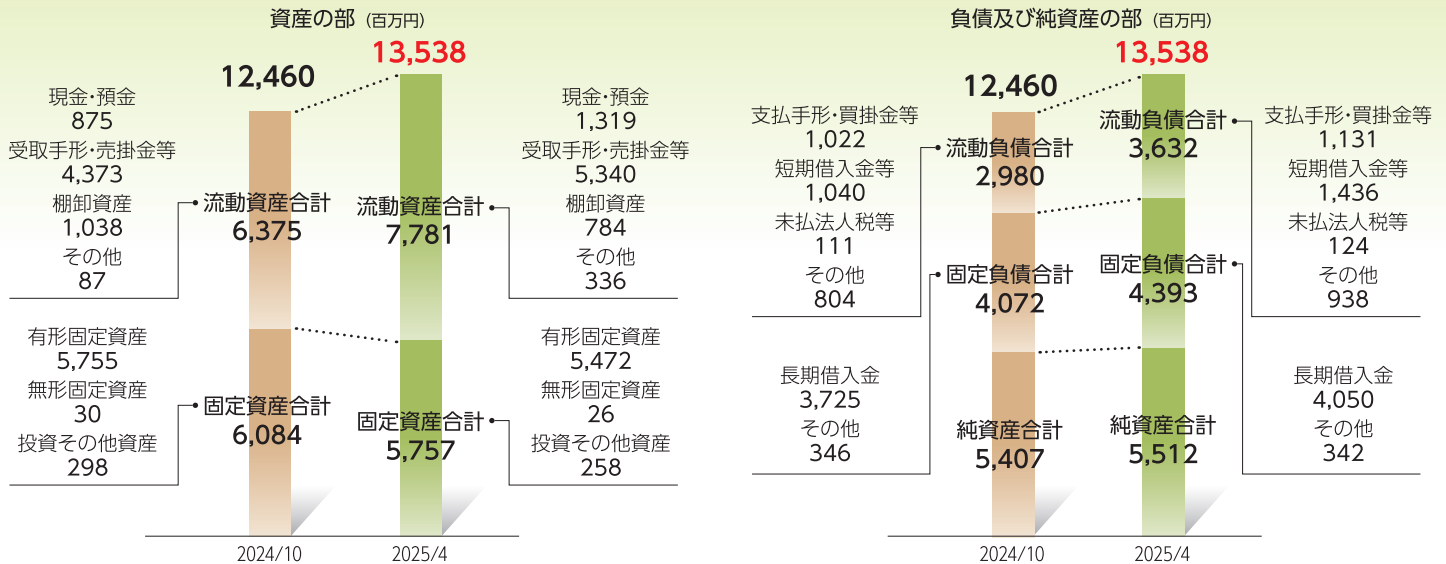
POINT 2 非住宅分野など、今まで開拓できていなかった販路が増えることにより
販売機会が拡大しました。

連結貸借対照表の概要



POINT

ハウス・エコ事業の官公庁案件の売上が3月に集中し、受取手形・売掛金等が大幅に増加しました。金利の先高観もあり、低金利での長期の資金調達を前倒しで実行したため、借入金が増加しました。



株式の状況

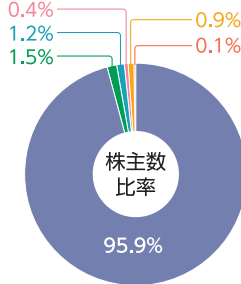
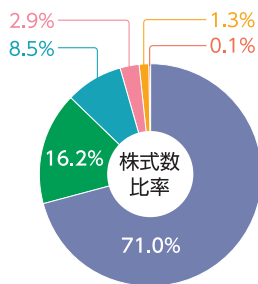
2025年4月30日現在

発行済株式の総数 1,775,469株
(うち方自己株式 1,337株)

株主数 1,689名

株式・株主 分布状況

- 個人
- その他国内法人
- 証券会社
- 金融機関
- 外国人
- 自己株式



大株主

〈上位10位〉2025年4月30日現在

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中浜 勇治	295,733	16.67
(株)和 幸	164,300	9.26
中浜 勇	142,937	8.06
(株)SBI証券	79,197	4.46
藤井 實	59,200	3.34
肥田 亘	50,000	2.82
大阪中小企業投資育成(株)	44,000	2.48
宇藤 秀樹	42,500	2.40
鹿野産業(株)	41,900	2.36
山本 康司	40,000	2.25

(注)持株比率は、自己株式1,337株を控除して計算しています。

会社概要

2025年4月30日現在



商 号	株式会社オービス
設 立	昭和34年(1959年)11月
資 本 金	709,742,251円
従 業 員 数	177名 (外、平均臨時雇用者20名※1日8時間換算)
本社所在地	広島県福山市松永町六丁目10番1号
監 査 法 人	有限責任 あずさ監査法人

役 員

2025年6月13日現在

代表取締役社長	中 浜 勇 治
専務取締役	梅 田 孝 史
常務取締役	谷 本 泰
取締役	井 上 清 輝
取締役	土 田 光 典
取締役	川 岡 公 次
取締役	玉 田 龍 治
取締役(社外)	小 山 幹 夫
常勤監査役(社外)	松 村 清 治
監査役(社外)	長 井 紳 一 郎
監査役(社外)	近 藤 哲 英

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
一単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当 毎年10月31日 中間配当 毎年 4月30日
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告に よることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 [公告掲載URL] https://www.orvis.co.jp/ir_advertising/
上場証券取引所	東証 スタンダード市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324
(電話照会先)	



株式会社 オービス URL <https://www.orvis.co.jp>
〒729-0104 広島県福山市松永町六丁目10番1号 TEL.084-934-2621



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを使用しています。